

わたしの総合型選抜



2年 しょうの さくひろ 庄野 朔弘さん 徳島県立徳島商業高等学校 出身

MY FAVORITE  
**TOTTORI**

兎が走る神話のビーチで波乗り

サーフィン部に所属する僕は、よく「白兔(はくと)海岸」へ出かけます。ここは神話『因幡の白兔』の舞台であり、ビーチの反対側には白兔神社も。美しく歴史あるビーチでの波乗りはサイコーです!

## 鳥大は、厳しい条件の中から見つけた希望の進路

実業高校からの一般入試は難しいことから、僕は総合型選抜や学校推薦型選抜に絞って志望校を模索。その条件は大きく3つ。英語科の教員免許が取得できること、国際的かつ地域文化的な学びができること、踊りの研究活動ができること。踊りの研究がしたいと思ったのは、高校で「阿波踊り部」に入ったことがきっかけです。そんな僕の要望にマッチしたのが、この国際地域文化コース。しかもダンスの研究をしている先生がおられると知り、僕のモチベーションは爆上がりしました。

早速、夏のオープンキャンパスに参加。鳥大の雰囲気や体感するとともに、履修科目や研究内容、受験方法などの情報をしっかりゲットしました。

## 関連分野の本を読み、少しでも知識を広げておこう!

受験対策で一番苦労したのは、自己推薦・志望理由書を書くこと。まずは文字数を気にせず自分の思いを全て書き出し、その中から必要な部分を先生にピックアップしてもらって文章を整えていったのですが、そぎ落とし過ぎると表現が硬くなるし、熱量も落ちる。自分の熱い思いと文字数がせめぎ合うジレンマの日々でした。

2次選考の課題論文のテーマは「日本料理の定義」。練習した過去問より書きやすいと思えたとし、直前に借りた本で伝統料理のことを読んだのを思い出し、考えを掘り下げることができました。本を読んだりニュースをチェックしたりと、この分野に関連する知識量を少しでも増やしておくことはとても重要です。

第2次選考  
選抜方法

グループディスカッション

課題論文

個人面接

詳細は  
こちら→



全文は  
Webで!



わたしの総合型選抜



2年 さの なつき 佐野 菜月さん 埼玉県立熊谷女子高等学校 出身

MY FAVORITE  
**TOTTORI**

プリブリッ食感の「モサエビ」

海なし県出身者の私は、地元スーパーの鮮魚コーナーの充実度と、魚介類の美味しさに衝撃を受けました。中でも好きなのは「モサエビ」。独特の甘味、プリブリッとした弾力のある食感がたまりません!

## 考える・書く・話す、全て駆使して自分の“核”を構築

大好きな「食」に対する関心から世界の食糧問題にも興味を抱き、農学を学びたいと思うようになった私。また以前から、地方の魅力や課題を現地で体感しながら学びを深めたいという思いを持っており、人口最少の鳥取県に注目していたので、高1の夏には全ての条件がそろっている鳥大へ進学することを心に決めていました。

自己推薦・志望理由書は、自分が伝えたいことは何なのか、その核をしっかりと固めるため、自分の思いをとことん突き詰めて考え、ノートに書き出したり、家族に話したりすることで整理。それを基に面接練習を重ねました。おかげで、ガチガチに緊張した1次面接当日も、なんとか核の部分だけは伝えることができました。

## グループ討論は、全員での“協働”を意識しよう

校外のプログラムでグループディスカッションの経験はあったものの、私の高校は総合型選抜や推薦で受験する人がほとんどおらず、受験前に討論の練習する機会はありませんでした。そこで対策本を熟読、良い例・悪い例などを参考に、自分がその場にいたらどうするだろうと頭の中でシミュレーションしました。

本番では書記を担当。全体を俯瞰できる役割だったので、論点がずれたときは元に戻るよう誘導し、なかなか発言できない人がいたら話を振ることができたのは良かったですね。ここで大切なのは「協働性」。他の人の意見に耳を傾けつつ自分の主張を整理し、全員で力を合わせて討論をまとめる姿勢を心がけましょう。

第2次選考  
選抜方法

課題論文

グループディスカッション

個人面接

詳細は  
こちら→



全文は  
Webで!

